

- 地域保健と学校保健の係
- 学校保健委員会  
小・中・高校の事例
- 日本の子ども
- 昭和55年度センター的事業

会報をよくするため、読者のご意見を求めています。お葉書をお寄せください。

The School Health (No.136)

# 学校保健

昭和56年3月1日発行  
(隔月発行)

発行 日本学校保健会  
東 俊 郎  
〒105 港区虎ノ門2-3-13 第18森ビル  
電話 (501)3785・0968  
振替口座 東京4-98761  
頒価1部100円(送料共)

## 地域保健の中軸として学校保健を進めよう

子どもは文部省の所属でも、厚生省の所属でもありません。子どもは家庭で育てられ、学校で勉強し、地域で生活している存在です。

学校保健と地域保健との結びつきが叫ばれ始めたのは、決して新しいことではありません。それなのに両者の係がうまくいっている例を探すのは意外に難しいことです。一体なぜでしょうか。おそらく、肝心の子ども達の立場が忘れられがちで、学校保健なり地域保健なりの担当者の立場が、むしろ前面に出てしまうからでしょう。確かに現在の縦割り行政

のなかで、両者の密接な係を保つことは、言うべくして行い難いことかもしれません。しかし、その難しさをのりこえて実践し成功している地域もあるのです。決して不可能なことではありません。

子ども達の立場を尊重して、何とかこれまでの殻を破ってみましょう。地域保健の中軸として、新しい学校保健の道すじを、進めていこうではありませんか。

国立公衆衛生院・東京大学教育学部教授 高石昌弘



## 地域保健と学校保健の提携

### 1. 地域ぐるみの保健

地域医療を担当する医師として、児童生徒を、心身の発育発達段階をふまえた個々の人間形成の場として、学校、家庭およびこれを取りまく地域社会を等しく捉え、変貌著しい多様化する社会構造の中で、成長していく子供達の未来像を考えることはなによりも大切なことである。関係者が学校保健に対する理解とその実践の場をつみ重ねることによって、地域保健の向上が期待されよう。

包括的医療推進の基盤は、地域の特殊性をふまえ、地域住民と緊密に連帯をもつ地域医療の確立を目指すことに他ならないが、そのためにその地域の学校保健を推進し、それを中核として地域保健をすすめていくような方向づけもきわめて重要である。

### 2. 学校から家庭へよびかける。

学校と家庭、および家庭を取りまく地域社会が、子供の健康、家庭の健康という共通の場をふまえて、お互の連帯感のもとにまわりの者の健康まで考えていくような保健活動、健康教育の実践は、学校医は勿論、地域医師会が中心になって推進すべきものと思われる。すなわち、学校保健がすすめば地域保健もすすみ、地域保健がすすめば学校保健もますます向上するといった具合に、学校保健と地域保健が一体となって推進するような地域保健計画は、地域の医師会活動として、包括的医療体系の中に捉えることが大切である。学校保健の充実をめざすとき、学校における健康観察、家庭における健康観察をはじめとして健康教育を柱として、児童生徒保健委員会、学校保健委員会、健康相談等の自主的、積極的実践活動の展開が、家庭およびその地域へと及ぶような方向づけが望ましい。学校医としては、いろんな組織活動の場を通じて、積極的に指導助言をつみ重ねていく姿勢が要請されよう。ことに健康に対する意識づけと習慣づけの場としての家庭における健康教育の実践は、合理化、情報化、科学化の近代社会の

中であって、21世紀を生き、かつ、支えるであろう子供達のすこやかな成長をめざすとき、地域保健活動として、絶えず健康問題に関するニーズを探りながら、積極的な対応が望まれる。

### 3. 就学以前の問題

最近の学校病といわれるう歯、近視、骨折、それに精神衛生上の諸問題点を考えてみても、その誘因は単一的なものではなく、また、学校だけの問題点だけに止まらず、就学以前のしつけと習慣形成の基礎づくりの場、すなわち、家庭保健の中で、その芽生えの時期である胎芽、胎児保健にはじまり、乳児期、幼児期と成長していく心身の発育発達の連携の場を母乳とともに、母親の膝の上で育てていくような方向づけを串木野市健康増進協議会では実践し、今日に及んでいる。学校保健のよりよい充実をめざし、5才児検診として保育園、幼稚園該当児を対象に心臓検診、精神発達状況調査もふまえて、詳細な調査を実施し、定着化している。このことは、学校保健の門戸として、また、地域保健へのかけ橋としての意義が大きい。

### 4. 家庭での健康教育の要

子供達の8時間以外の時間帯はすべて家庭にあり、それぞれの1日の生活のバイオリズムの中で家庭保健を中心とした健康教育と、その実践こそが自意識への変容につながり、生活習慣の改善が科学化をめざすものとなるであろうし、学校保健への向上へ、また、家庭を中心とした地域的展開につながるものと思われる。低成長、情報化社会へと移る近代社会で、新しい豊かさへの模索は、自分と、そしてまわりの人の健康という自意識が基本である。それから始まる生き甲斐への模索は、家庭保健を基盤とする健康教育に他ならないし、学校保健の充実へ連なるものと考えらる。

学校保健委員会——小学校

常に心を子どもに合わせて邁進

1. 学校の現況

私は申木野市立照島小学校の校医であります。児童約600名の中規模の学校であります。この2及至3年の間に管理棟を始め校舎の新築が殆ど完成し、教育機器を十分にとり入れた近代的な施設が備えられた学校です。さて、学校保健委員会の実際について述べてみたいと思います。

2. 参加者の発言は活発

学校保健委員会は、毎学期終りに年3回開催されます。参加者は学校長、教頭、関係職員数名、PTA正副会長、PTA保健関係委員及び一般父兄、学校児童保健委員、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、校区婦人会長、校区市会議員、ときにゲストとして警察署長、消防団長等であります。会の進行は、学校保健主任が行い、議長にPTA会長が当たります。まず、校長挨拶の後、校医の講話、あるいは、警察署長による交通安全の問題とか、非行防止の講話等がなされます。つぎに議長による議事進行となります。まづ、学校当局の各担当職員により、いろいろの報告が小冊子によりくわしく報告されます。その内容としては児童の健康管理に関すること。健康診断の結果と事後措置に関すること。健康相談に関すること。各児童生徒の疾病、負傷の実態と予防に関すること。体位体力の検査結果と増進に関すること。学校給食に関すること、児童の精神的な発達に関すること、学校内環境整備に関することであります。出席者は誠に意見活発であり、会が3時間を越えることも、しばしばであります。

3. PTAの努力が結実する

以上、当校における学校保健委員会の報告内容を述べました。各参加者の質疑応答が熱心に続くわけです。

本校の特徴を強いてあげますと、学校保健委員会に参加すべき人々が日常の忙しい家事をおいても、参加してくるという気風があります。それだけPTAの人々が熱心だといえます。

また、昭和55年度には、県学校健康優良校指定をはじめ、朝日新聞社主催の数少ない健康優良校の一つとして受賞しています。しかし、学校保健委員会の在り方がこれで十分であるか。との反省があるのもたしかです。

4. 子供を中心に考えていく

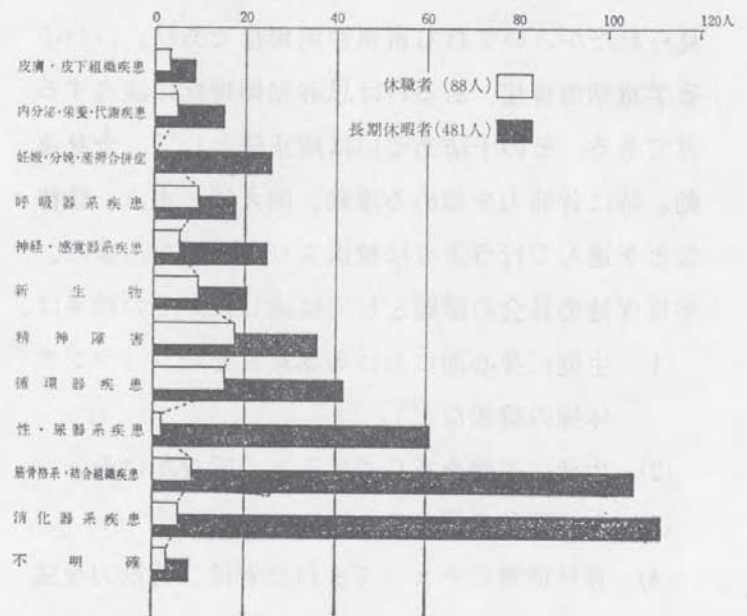
一般に会となるとその内容をよく知っているものの、参加が望まれるのでありますが、PTAの総会でもないのに会員全員の参加を求めるのは酷であり、また、PTA総会の日には委員会を開くのも、時間的に無理で参加者数としては、今が限度でしょう。他への内容伝達の方法を考慮すべきと考えます。学校内における行事は、すべて子供をみつめることに始まり、子供をみつめることに終ると思います。保健委員会も参加者、司会者が皆一人よがりの偏見や、見栄をかなぐりすて、常に心を子供に合せ、心身共に健やかな子供を育てるために歩調を整え、邁進してゆくことが大切だと考えます。

申木野市医師会 富宿 丈

昭和54年度

学校職員の病種別・休職・長期休暇者の状況

(新潟県)



## 学校保健委員会——中学校

## 健康診断の事後措置

## 1. はじめに

鹿児島県串木野市立串木野中学校は、生徒数655名の中規模校であり、学校保健委員会は学期毎、特に夏休み、冬休み前に、定期健康診断、体力テストの事後措置を中心として実施している。この学校保健委員会には、学校長、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、学校保健主事、養護教諭その他の職員、市教育委員会、PTA役員、PTA保健部、生徒保健部等が参与出席し、本会において協議された内容は「学校保健委員会報告」として、また、毎月1回「保健だより」を発行し、関係者ならびに生徒父兄全員に配布し、努めて、その活用を促がしている。

## 2. 受診態度の指導も大切

定期健診は、毎年4月、学年初めに行い、内科医、眼科医、耳鼻咽喉科医、歯科医別に実施している。第1学期の保健委員会では、特に定期健診の結果、まず生徒の受診態度を取り上げ、昭和54年度より脊柱側彎の検診が附加された。その結果、1年生241名中、6名、2年生193名中、9名、3年生221名中、8名、すなわち計655名中23名、3.5%に脊柱側彎が見られたが、いずれも習慣性側彎症であり、いわゆる学童期側彎症、あるいは思春期側彎症に該当する者である。その予防あるいは矯正法として、全身運動、特に背筋力を強める運動、例えば、水泳、鉄棒などを進んで行うように校医より説明した。また、学校保健委員会の議題として協議した。その結果は、

- (1) 生徒に身心面における素直さを培う（ラジオ体操の奨励など）
- (2) 生徒に姿勢を正しくするよう呼びかける。
- (3) 全身運動を行うこと。
- (4) 脊柱側彎のチェックされた者は、背筋力を強

くする運動をやる。

## 3. 夏休み、冬休み前に

夏休み前の保健委員会では、まず、水難事故の防止と、心疾患生徒の協議をした。水難事故の対策として、救急措置について論じられ、心疾患11名中心室中隔欠損症5名、心室性期外収縮1名、右肺ブロック1名、無害性雑音3名には専門医の診断と治療を勧告した。

わが串木野市では、地域健康増進協議会の一環として既に5才児検診、小学時検診にて、心電図、心音図等諸検査を行い、毎年検診を行い、さらに要注意者は、循環器内科医にて検討をし、治療を勧告し、かつ、当該医師の指示により、運動範囲の処方を提供してもらうことになっている。

第2学期は、感冒の予防法について校医が説明し、「冬の健康」について生徒保健委員会が提案し、全員が諒承し、議決した。

- (1) 寒い日でもポケットに手を入れない。
- (2) 厚着をしない。鍛錬体操をする。
- (3) 教室の換気をよくする。

## 4. まとめ

第3学期は、まとめとして体位、体力について、保健主事が報告した。本校の1年女子、3年男子は、全国平均よりすぐれているが、2年男子は、全国平均より劣っている。

総体的にみて、運動能力と持久力は強い。しかし、瞬発能力と筋力は劣っている。これらの対策について、学校保健委員会で協議し、日常活動の反省と個人目標を決めての健康づくりに努めることになった。

学校保健委員会——高等学校

## 健康相談・自己認識と自己管理

### はじめに

本校は、県の西部に位置し、東シナ海に面する遠洋漁業の基地、串木野市にある全日制普通科の県立高等学校である。生徒数721名(男子254名、女子467名)、17学級の中規模校である。

入学してくる生徒の大多数は、市内に居住する者であり、これらの生徒の健康については、小・中学校時代を通して、健康手帳(市地域健康増進協議会発行)に、個人の健康・体格・体力および生活規制などの指導も適切に記録されているため、貴重な資料として活用しているのが心強い。

### 1. 本校における健康相談の実態

アンケート調査にあたっては、学校医はもちろん、関係職員(担任・保主・養教・生徒指導)で調査内容を検討した。対象者全員へアンケート調査を行うため、担任を通して、少しでも健康に疑問のある者、健康観察等で健康相談をうけさせた方がよいと思われる者、および、たびたび保健室をおとすれ、養護教諭がうけさせた方がよいと思う者については、特に記入にあたり、個人指導を行ってみた。この調査結果では、279人(38.7%)の者が何らかの症状を訴えている。なかでも「身体が疲れやすい」213人(29.5%)が最も多く、つぎに「少し走ると、すぐにドキドキする」116人(16.2%)、「階段の上り降りすると息切れがする」54人(7.5%)の順となっている。自らすすんで健康相談を希望した者は、20名足らずであり、また、家庭からの連絡による希望者もほとんどみられない現状である。このように大半の者は、健康相談をためらう傾向が強いように思われる。

### 2. 学校保健委員会での検討

生徒自身が健康問題をとらえ、より積極的に健康

相談等を活用しながら、問題の解決をばかり、自立的な自己の健康管理を実践させる必要がある。そのためには、学校保健委員会において、健康相談の活発化および事後措置をどのようにしたらよいかを検討したところ、健康相談の結果は必ず通知書を発行し、家庭へも周知徹底させ、関心を高めるように努めた。さらに精密検査の結果、継続的な観察が必要なものは、今後、健康相談のたびごとに、疾病や異常について理解させ、また、生活規制についても個別指導を充実させる等再確認し、特に保健活動の一環として、年何回か保健部と生活指導部との定例会をもち、そのなかで、情報交換や問題点をさぐりながら、具体的な対策等を考えるようにしている。その資料を学校保健委員会へ提出し、協議を行い生徒の健康保持増進に努めている。また、学校保健委員会で協議されたことが、即、実践に移せるような手だてとして、生徒は、その協議の結果を学級に持ち帰り、ホーム・ルームで充分話し合うように指導している。PTAに対しては、家庭における健康観察や基本的な生活習慣の確立を強化するように要請している。

### おわりに

学校保健の基盤は、自ら健康づくりに、取り組む生徒を育てることである。特に、高等学校の場合、生徒の一日の生活のバイオリズムのなかで健康の諸問題を総合的な見地からとらえるために、健康相談を軸として学校保健委員会の充実をはかる。さらに、関係職員の協力を得ながら、自主的、積極的に、生徒・家庭・地域社会へと広がるようつとめる。今後さらに、これら子どもたちの未来像をふまえ、実践の場を積みかさねたい。

串木野高等学校学校医 有川芳治

# 日 本 の 子 ども

## 生活のリズムと就寝

1. この調査は、国際児童年事業の一環として、総理府が実施したものです。

(1979年9月10日~10月30日)

- 調査方法……各国とも調査員が個別面接
- 調査機関……(株)日本リサーチセンター
- 調査対象……日本、アメリカ、イギリス、タイ、フランス、韓国。
- サンプル数…10才~15才。各国とも総数は千数

百名。男女約半数。年齢層も平均的になるよう配慮して調査。

### 2. 就寝、起床の時間の調査

問2では、児童の生活時間、すなわち就寝・起床時間、学校の拘束時間、学校での授業が終わってからの勉強時間、遊んでいる時間、手伝いをしている時間等について、尋ねている。また、手伝い、賃金仕事については、その内容も尋ねた。

### 就寝、起床の時間

問2 あなたはふだん（月曜から金曜まで）の1日をどのようにすごしていますか。それぞれについてお答え下さい。

(全部の人に)

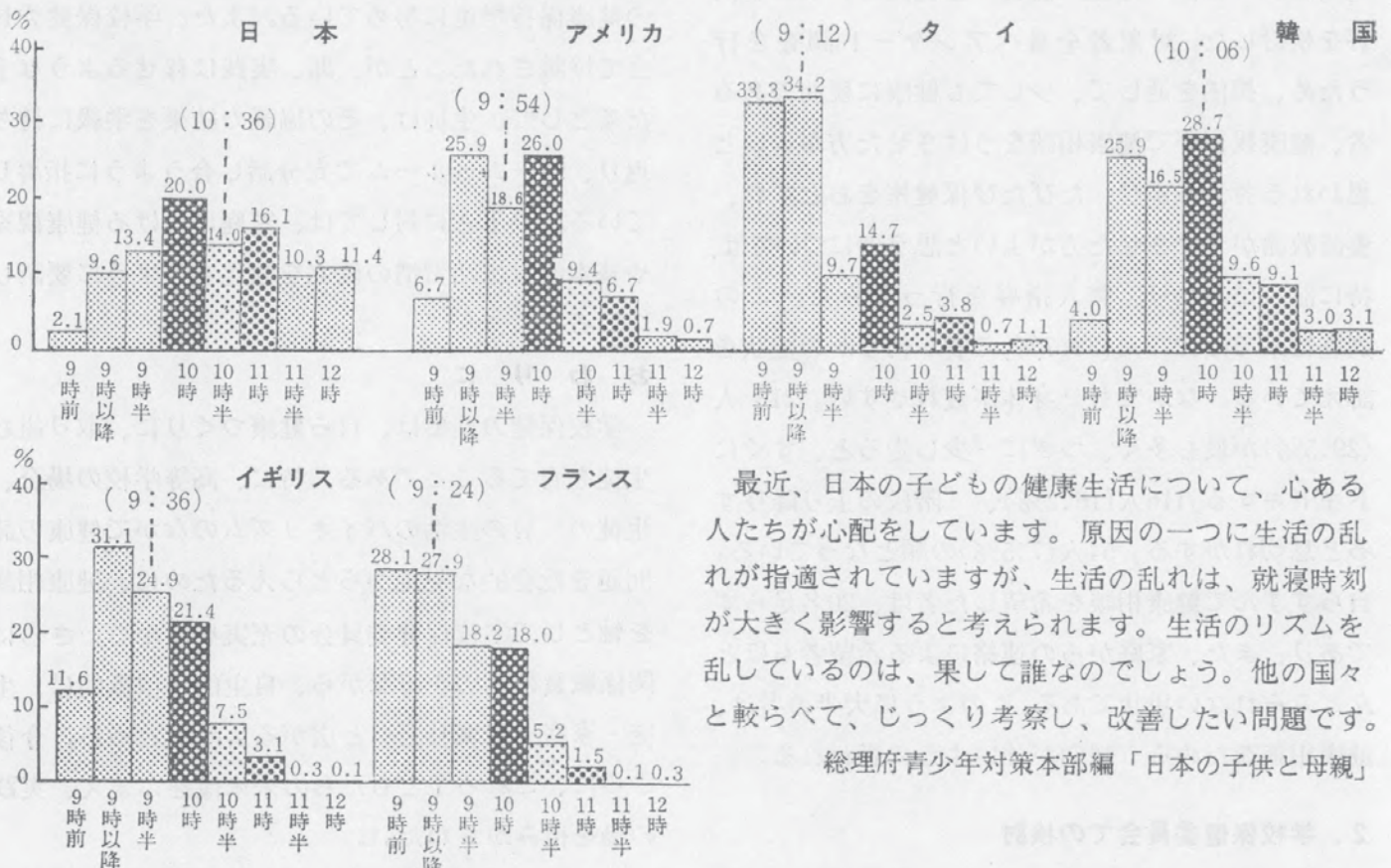
(1) あなたは夜、何時ごろ寝ますか。(自由に)

\_\_\_\_\_時\_\_\_\_\_分頃

(全部の人に)

(2) あなたは朝、何時ごろ起きますか。(自由に)

\_\_\_\_\_時\_\_\_\_\_分頃



## 昭和55年度

## 学校保健センター的事業の概要

学校保健センター的事業発足以来8年が過ぎた。現在までに設定した委員会は28を数える。本年度は、14委員会で、その委員会を構成する委員会は158名である。委員長はもとより、三師会の方、学校現場で直接学校保健にたずさわっている校長や職員、それに大学の教授、助教授の協力によって、本事業が実施されている。

昭和53年度から始まった健康増進のための委託事業は、6種類に及び、30の都道府県が実施している。

## 1. 本年度のおもな委員会

## 1. 普及指導事業

この事業のねらいは、学校保健に関する資料の収集と、その活用及び学校保健センター的事業の普及を図ることである。三つの小委員会に分かれている。

## (1) ( ) は委員長

## ○普及指導小委員会(下田 巧)

センター的事業の年間報告書、報告会(2月27日、オリンピック記念青少年総合センター)及び出版物の発行、など。

## ○資料情報小委員会(村上賢三・大場義夫)

地方学校保健会等の刊行物、情報の整理、配布、など。

## ○海外情報担当小委員会

海外の学校保健団体との連けいと情報の交換「海外情報ニュース」の発刊、など。

## 2. 調査研究事業

## (1) 登校拒否等情緒障害委員会(玉井収介)

登校拒否児童生徒の現状把握とその対策をたてるため、調査研究。

## (2) 保健室経営委員会(村田謙二)

保健室の機能について検討し、保健室経営のシステムを図る。

## (3) 姿勢と運動機能委員会(山田憲吾)

学校における脊柱側彎症、姿勢異常及び外傷の発生など

## (4) 貧血委員会(平山宗宏)

「貧血の保健指導」の試案を昨年編集した。55年度は、それを充実し「貧血と脳貧血」を出版。

## (6) 視力委員会(小沢和郎)

児童生徒の視力低下の原因とその対策。

## (7) 歯の保健指導委員会(森本 基)

小学校の歯の保健指導の実態を把握し、指導計画及び指導法の改善を図る。

## (8) 平衡機能委員会(荒木元秋)

児童生徒の平衡機能と運動能力との関係を調査、その対策を検討。

## (9) 心臓検診委員会(大国真彦)

心臓検診を適切に実施するため、自動解析装置付検診計による検診についての調査と研究。

## (10) 学校保健に関する特別委員会(重田精一)

児童生徒の健康生活を阻む要因の検討と対策。

## 3. 健康増進事業……30の都道府県保健会に委託

## (1) 運動医事健康増進検討委員会(黒田善雄)

## (2) 健康診断充実推進委員会(小栗一好)

## (3) 学校環境衛生推進委員会(元山 正)

## (4) 養護教諭実技講習会 全国6ブロックに委託

## (5) 学校保健活動推進地区事業(士別市・防府市)

肉体疲労時のVB<sub>12</sub>補給に

# アリナミンA

筋肉痛・腰痛・神経痛・肩こりの緩和、脚気、病中病後・妊娠授乳期のビタミンB<sub>12</sub>補給にも。

武田薬品工業株式会社  
〒541 大阪市東区道修町2-27



## 学童の集団検尿には 潜血検査も

キッドステック<sup>TM</sup>



ハマオンビスティック<sup>®</sup>

製造元: エームス事業部 販売元: 三共株式会社  
マイルス・三共株式会社

## 肉体疲労時の栄養補給

虚弱体質に

# ポポンS錠

シオノギ製薬

医薬品 殺菌・消毒・除藻剤

食品添加物合成殺菌料

日本学校保健会推薦



次亜塩素酸ナトリウム10%溶液

10%×18ℓ

製造発売元 株式会社 エド ラ ッ ク ス

TEL.03(455)4341(代)・千葉0474(74)1171

残留塩素測定用  
オルトトリジン試薬

# 育ちざかりのひと粒!

体力をつけ健康を保つ

# カワイ肝油ドロップ



製造発売元 河合製薬株式会社 東京都中野区新井2-51-8

これからの教室、体育館などの学校清掃管理は——SCシステムで!

安全  
で  
清潔



- 塗るだけでピカピカ!
- 滑らないので安全です
- 水性タイプなので安全、清潔です



ペンギンワックス

推薦 日本学校保健会

カタログご希望の方は、  
SCS係宛お申し込み下さい。

本社 大阪市東成区東中本3-10-14(〒537) TEL06 (976)1451

## 歯ブラシはお口に合せて選びましょう。



推薦 日本学校保健会

バネットライオンジュニア

ライオン株式会社